資産見返負債戻入	495,575	92,257	8,257	596,090	184,758	780,849
承継剰余金債務戻入	—	—	—	—	29,192	29,192
財務収益	—	—	—	—	38,803	38,803
雑益	144,899	20,300	—	165,200	166,486	331,686
小　　計	11,341,869	15,053,064	742,954	27,137,889	1,553,918	28,691,808
業務損益	839,796	1,107,930	△ 21,184	1,926,542	△ 696,107	1,230,435
土地	17,030,170	3,585,000	3,243,000	23,858,170	—	23,858,170
建物	8,452,857	4,337,563	864,049	13,654,469	3,245,361	16,899,830
構築物	205,928	113,819	70,283	390,032	191,511	581,544
工具器具備品	1,688,635	3,878,480	14,033	5,581,149	39,207	5,620,356
その他固定資産	3,573,782	49,333	717	3,623,833	774,522	4,398,356
流動資産	482,814	2,757,126	52,654	3,292,596	6,652,309	9,944,905
帰属資産	31,434,189	14,721,323	4,244,739	50,400,252	10,902,911	61,303,164

（注１）　セグメントの区分方法

本学の業務に応じてセグメントを附属病院、附属学校と学部研究科等に区分し、各セグメントに配賦しない業務損益及び資産は「法人共通」に計上している。

（セグメントの区分方法の変更）

セグメント情報については、従来、「附属病院」及び「その他」に区分し、各セグメントに配賦しない業務損益及び資産は「法人共通」で区分していたが、詳細なセグメントに係る財務情報を開示する目的から、当事業年度より、「その他」の内容を「学部研究科等」「附属学校」に再編成した。

当事業年度において、従来のセグメント区分によった場合のセグメント情報は次のとおりである。

（単位：千円）

区　　分	附属病院	そ の 他	小　　計	法人共通	合　　計
業　務　費　用	13,945,134	11,266,212	25,211,346	2,250,025	27,461,372
業　務　収　益	15,053,064	12,084,824	27,137,889	1,553,918	28,691,808
業　務　損　益	1,107,930	818,612	1,926,542	△ 696,107	1,230,435
帰　属　資　産	14,721,323	35,678,929	50,400,252	10,902,911	61,303,164

（注２）　業務費用のうち、法人共通（2,250,025千円）は各セグメントに配賦しなかった費用及び配賦不能の費用であり、その主な内容は本部の職員人件費（1,670,751千円）及び一般管理費（418,783千円）である。

（注３）　帰属資産のうち、法人共通（10,902,911千円）は各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主な内容は本部の建物（3,245,361千円）、投資有価証券（604,446千円）、有価証券（199,983千円）、現金及び預金（6,438,511千円）である。

（注４）　目的積立金の取崩額について

平成20事業年度において目的積立金の取崩を財源とする費用は、89,718千円（法人共通）である。

（注５）　附属病院セグメントにおける運営費交付金収益の計上基準

附属病院セグメントにおける運営費交付金収益は、附属病院に関し国が予算積算した運営費交付金を収益化した場合の相当額と657,538千円差額があるが、これは、国の予算積算額に加えて、大学高度化推進経費により附属病院における戦略的（公募）プロジェクト経費12,918千円、学長裁量経費により病院運営充実経費10,000千円と経営改善経費100,000千円、前事業年度より繰越して使用する附属病院における繰越金相当額61,430千円及び国立大学法人会計基準実務指針による人件費を勤務実態に基づいて配分したことに伴う473,189千円を計上したことによるものである。

附属病院に関し国が予算積算した運営費交付金1,732,970千円のうち、収益化額は1,732,155千円、815千円は資産の取得である。

（注６）　各セグメントにおける損益外減価償却相当額等については以下のとおりである。

（単位：千円）

区　　分	学部研究科等	附属病院	附属学校	小　　計	法人共通	合　　計
損益外減価償却相当額	621,736	9,831	72,690	704,258	149,431	853,690
損益外減損損失相当額	—	—	—	—	—	—
引当外賞与増加見積額	△ 8,934	△ 5,355	△ 6,089	△ 20,380	△ 49,358	△ 69,738
引当外退職給付増加見積額	△ 254,809	26,985	197,684	△ 30,139	△ 76,290	△ 106,429

（注７）　附属病院の業務損益において、法人設立時に国から承継され資産見返勘定を立てて会計処理を行っている診療機器等に係る当期の資産見返勘定戻入額は、25,640千円である。

（注８）　附属病院の業務損益において、借入金元金償還額と減価償却費の差額による当期純利益への影響額は、551,537千円である。

⑲　寄附金の明細

区　　分	当期受入	件　　数	摘　　要
	（千円）	（件）	
学部研究科等	634,808	3,637	（注１）
附　属　病　院	12,575	20	（注２）
附　属　学　校	19,200	8	
法　人　共　通	17,116	306	
合　　計	683,700	3,971	

（注１）　うち現物寄附（資産）分　3,027件109,200千円を含んでいる。

（注２）　うち現物寄附（資産）分　３件5,419千円を含んでいる。